

小学校再編に伴う学童保育の統合について

(仮) 泉統合小学校での学童保育園については、日吉学童保育園、宇仁学童保育園、西在田学童保育園を現在の泉学童保育園に統合して設置する方向で検討しています。統合によって児童数の増加が見込まれますが、新たな園舎の増築を行わず、統合小学校 1 階東側の教室を開放することで、児童の受け入れ人数を確保します。学童保育園を統合することにより以下のメリット、デメリットがあります。

メリット

(1) 集団で群れて遊べる環境

泉統合小学校で作った「人と人との関わり」を、そのまま放課後の生活の場でも活用することができます。小規模のままの学童保育では集団での活動や遊びが制限されます。学童の統合によって、「遊び」中心の生活をより楽しく、より多様な環境を子どもたちに提供することができます。

(2) 学校・学童・家庭との連携

学童では保護者はもちろん、学校との連携を軸に運営しています。体調や友だちとのトラブルなど学校からの日々の情報は個に寄り添う支援には欠かせません。統合小学校に隣接して統合学童保育園があることは、学校、家庭との良好な連携を継続することができます。

(3) 防犯・安全性の確保

閉校となる小学校の建物内に学童保育園だけが残ることは安全面のリスクを抱えることとなります。隣接する学校に教職員が常駐することにより、防犯の観点から望ましい体制が確保できます。

(4) 既存施設の利活用

統合によって廃園する学童保育園舎の再利用を進めることができます。

デメリット

(1) 自宅からの送迎距離が遠くなります。

(2) 児童数が増えることで、送迎時間が混み合います。